

グループふりかえりのやり方

須藤功平

株式会社クリアコード

SEゼミ2014 - リーダブルコード勉強会1
2014/06/22

目的

各自が見つけた
よいコードを
グループで共有

ポイント

悪いコードより
よいコード

悪いコード

- ✓ 見つけやすい
 - ✓ 異質
 - ✓ リーダブルじゃない
- ✓ 過剰に指摘したくなる
 - ✓ 「マサカリを投げてみたい」

マサカリ投げたい症候群

早めに卒業しましょう

- ✓ 必要十分な事実伝達以外の否定的な情報を過剰に含む指摘
必要十分な事実伝達がない場合もある
- ✓ 必要十分な事実伝達：
○○な理由で××ではなく△△だ
本に書いているから、は理由になっていない
- ✓ 優越感を得られる

よいコード

- ✓ 見つけにくい
 - ✓ リーダブルだから
 - ✓ すーっと理解できてひっかからない
- ✓ 今日のチャレンジ
 - ✓ 意識して見つけよう！

やること

- ✓ 各自：よいコードを共有
- ✓ グループ内で整理
- ✓ 発表資料をまとめる

よいコードを共有

- ✓ 他の人に説明すること
 - ✓ 実際のコード
 - ✓ よい理由
- ✓ やむを得ず**悪いコード**を選んだ場合
 - ✓ 実際のコード
 - ✓ 悪い理由
 - ✓ 改善案とそれが妥当な理由

グループ内で整理

- ✓ よいコードの書き方に名付け
 - ✓ 例：自己記述的な変数名
- ✓ 整理された状態の目安
 - ✓ グループのだれでも説明できる

発表資料

- ✓ 発表時間は15分程度
- ✓ スライドはいらない
- ✓ 実際のコードと説明メモ
 - ✓ ↑を使って発表

説明メモ

- ✓ GitHubにpush
- ✓ 内容:
 - ✓ 名前
 - ✓ コードへのリンク
 - ✓ 理由
 - ✓ 見つけたきっかけ